

[第6回目] 運動方程式を解く 1 : 力がゼロの場合 (自由運動)

今日の授業の目標 運動方程式を立てる, 解く, とはということか

力がゼロの場合の運動方程式とその解 [等速直線運動 (自由運動), 1 次関数]

合力を求めると $F_x(t) = 0$

運動方程式を立てる: $ma_x(t) = 0 \dots$

加速度を求める: $a_x(t) = 0$

(積分)

(積分)

$$a_x(t) = \frac{dv_x(t)}{dt} = 0 \quad v_x(t) = C_1, \quad v_x(t) = \frac{dx(t)}{dt} = C_1 \quad x(t) = C_1t + C_2$$

一般解: $x(t) = C_1t + C_2, v_x(t) = C_1$ 上の運動方程式 に従うすべての運動を表す。

(C_1, C_2 は任意定数で, 初期条件から決まる。)

初期条件: $t=0$ のときの位置 (座標) と速度

初期条件として, $t=0$ の位置が x_0 , 速度が v_0 のとき ($x(0) = x_0, v_x(0) = v_0$)

特解: $x(t) = v_0t + x_0, v_x(t) = v_0$ いま問題としている初期条件での運動を表す。

次回予定 [第 7 回目] 運動方程式を解く 2 A : 自由落下 (教科書 40~41 上段, 45~47 ページまで)

レポート問題 第 6 回目 (右側の半分の解答用紙を切り取って提出しなさい)

数値で計算する問題は, 答えにも必ず単位をつける! MKS 単位系で答えること!

B... 問 1 次の関数を積分 (不定積分) せよ。不定積分とは, 微分すると与えられた関数になるような関数 (原始関数) を求めることである。積分定数 (任意定数) は C とし, 省略しないでかくこと。

$$f(x) = x$$

$$f(t) = t^2$$

$$a(t) = 2t + 3$$

$$v(t) = At^3 - Bt \quad , \text{ただし } A, B \text{ は定数}$$

B... 問 2 教科書 38 ページの演習問題 A を答えよ。問題に添え字はないが, (e)(f) は y 成分 (y 方向) について考える。 $a_y(t), v_y(t), v_y(0)$ のように添え字をつけることにする。

(f) は授業のやり方の step2 と srep4 を, (g) は授業やり方の step3 と srep4 を行うこと。

B... で求めた加速度 $a_y(t)$, 速度 $v_y(t)$, 座標 $y(t)$ の時間変化の様子をグラフで表せ。

< 予告 > 次回 [6/1 (火)] に第 1 回中間テスト (授業の初めの 20 分)

教室変更... B 0 2 0 3 講義室

関数電卓を使用する。 間をあけて座ること。(定期試験座り)

範囲: ベクトル, 微分, 単位, 位置, 速度, 加速度, 力学の 3 法則, 力の諸法則 (簡単なつり合いも)

教科書 p.5~7, 10~12, 20~22, 27, 30~32 など

式 (2.1), (2.3) の x 成分, 式 (4.1), (5.3), (6.1) など

数値で計算する問題は, 答えにも必ず単位をつける! 指示がない限り MKS 単位系で答えること!

問 1 $\int f(x)dx = \int x dx =$
 $\int f(t)dt =$

問 2 (a) a-1) $f_g =$ [], a-2) 向き:

(b) b-1) $f_N =$ [], b-2) 向き:

(c)

水平面 $\longrightarrow y$

(d)

(e) 運動方程式: _____, 加速度: $a_y(t) =$

(f) _____ 一般解は, _____ $\dots (A)$

初期条件 $v_y(0) =$ _____ と, (A) からの $v_y(0) =$ _____ を用いて, $C_1 =$

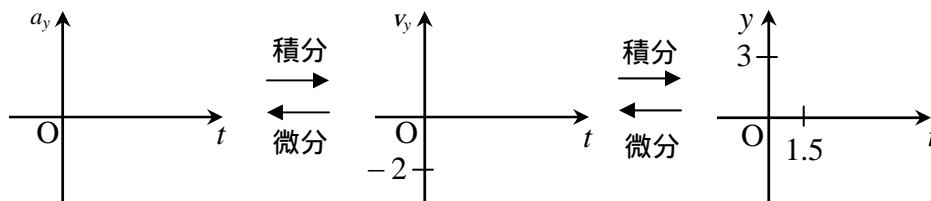
したがって特解は,

(g)

_____ 一般解は, _____ $\dots (B)$

初期条件 $y(0) =$ _____ と, (B) からの $y(0) =$ _____ を用いて, $C_2 =$

したがって特解は,



このレポートをやるのに _____ 時間 _____ 分,

それ以外に力学 の予習復習を _____ 時間 _____ 分した。